

令和8年5月1日

福岡市動物園

担当：吉柳(きりゅう)、廣田
電話 092-531-1960

【報道各位】

ツシマヤマネコの出産について

令和8年4月25日(土)に、4年ぶりにツシマヤマネコの赤ちゃんが生まれました。

性別はまだわかりませんが、母ネコが大切に育てています。これにより当園で飼育するツシマヤマネコは7頭となりました。母親は当園生まれの「チョコ」、父親は対馬で保護された「ジミー」です。

ツシマヤマネコは、長崎県対馬だけに生息する野生のネコで、生息数は100頭弱と推定されており、環境省レッドリストで絶滅の危険性が極めて高い絶滅危惧IA類に分類されています。そのため、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が協力し生息域外での保全に取り組んでいます。

当園は、平成8年に全国の動物園で初めてツシマヤマネコの飼育を開始し、平成11年から飼育下繁殖に取り組み、平成12年に国内で初めて飼育下での繁殖に成功しました。

1 赤ちゃん誕生の経緯

- ・4月25日(土)5時48分出産
- ・「チョコ」は今回が初産ですが、授乳を行うなど母子ともに元気に過ごしています。
- ・なお、2頭妊娠しておりましたが、もう1頭は残念ながら死産でした。



母ネコが授乳している様子



母親「チョコ」



父親「ジミー」

※妊娠から出産にあたり、岐阜大学 応用生物科学部 動物保全繁殖学研究室 楠田 哲士 教授の協力を得て、性ホルモン検査を実施しています。

(参考)

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

11施設 36頭(オス18頭、メス18頭) 令和8年4月1日時点

■当園でのツシマヤマネコの繁殖について

- ・今回の出産を含めこれまでに計63頭が出産(死産含む)
- ・全国の飼育下繁殖のおよそ70%が当園で繁殖

2 当園で飼育しているツシマヤマネコ ※子ネコを除く

個体No.	愛称	性別	生年月日	出生地	備考
74	妃（ひめ）	メス	不明	対馬 （野生由来）	2015.11月 来園 展示個体、チョコの母親
84	優芽（ゆめ）	メス	2017.5.11	京都市動物園	2025.12月 来園
91	ひい	メス	2021.3.18	よこはま動物園	初の人工授精生まれ
100	チョコ	メス	2022.7.6	福岡市動物園	今回初めて出産
102	たんぼぼ	オス	不明	対馬 （野生由来）	2023.1月 来園
112	ジミー	オス	不明	対馬 （野生由来）	2025.12月 来園

3 取材等について

- ・母ネコ及び子ネコの撮影はできません。母ネコが育児に専念できるようご了承ください。
- ・ツシマヤマネコ舎は繁殖棟と展示棟に分かれており、展示棟のみ撮影可能です。
- ・現在、展示棟では「妃（ひめ）」（今回出産した「チョコ」の母親）を展示しています。
- ・子ネコの公開については未定です。



ツシマヤマネコについて

日本では対馬だけに生息する野生のネコ科動物で、ベンガルヤマネコの亜種とされている。生息数は100頭弱（90頭又は100頭）と推定されており、1971年に国の天然記念物に、1994年に国内希少野生動植物種に指定された。体重3～5kg、体長50～60cmで、体全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴。薄明薄暮型で単独性。出産は、1回に通常1～2頭で、イエネコと比較して少産である。もっとも重要な餌はネズミ類で、他に鳥類や昆虫類等を食べる。